

2025年度日系社会研修 コース概要

N0.	42
所管センター	横浜
分野	団体運営・組織強化
研修コース名（日）	日系団体若手リーダー育成
受入人数	4
受入時期	下半期
来日日	2025年10月5日（日）
帰国日	2025年11月8日（土）
提案団体（日）	公益財団法人海外日系人協会
提案団体 ウェブサイトアドレス	https://www.jadesas.or.jp/
研修員必要資格	・帰国後、研修成果をドミニカ共和国の日系団体に還元するため、 ドミニカ共和国の日系団体活動や運営に積極的に参加している者もしくは参加する意思を有する者。
研修員に必要な 実務経験年数	不問
日本語能力（選択） ※日本語能力試験認定の目安参照	不問
英語能力（選択）	不問
研修目標	研修員が、持続可能な団体運営の方法に関する知識を習得し、ソーシャルビジネスの手法を用いた日系団体による地域活性化のための新規事業計画を作成する。
期待される成果 （習得する技術）	1. 研修員に、非営利団体の継続的運営管理方法が習得される。 2. 研修員に、様々な非営利事業（教育、文化、福祉等）に関する企画実施方法が習得される。 3. 研修員に、中小企業の海外進出に関する知識が習得される。 4. 研修員に、課題解決手法が習得され、日系団体及び地域活性化のための活動案を作成する。
研修計画 （内容）	1. 講義；日系団体に関する講義、持続可能な団体運営に関する基礎知識、ソーシャルビジネス手法、DXによる社会課題解決、SDGsと社会貢献等 2. 実習；日本文化体験、ファシリテーション手法、広報活動手法（ファンドレイジング）等 3. 見学；文化・教育・まちづくり系NPOや企業、移住関連施設等 4. 発表；研修最終日
本研修実施の意義 中南米日系社会への裨益効果	我が国では、1998年に特定非営利活動促進法が施行されて以来、非営利活動が活発化しており、現在では約4万のNPO法人が存在し、様々な分野で活動するに至っている。近年では、社会的な課題をビジネスの手法を用いて、継続的に取り組もうというソーシャルビジネスも盛んになっているため、講義や現場視察を通じて、研修員が我が国の非営利活動や社会課題解決に取り組む民間企業について学ぶ本研修を実施することの意義は大きい。
応募希望者への特記事項	当研修に関心をお持ちの方はお気軽にお問い合わせください。日本語・スペイン語を問わず対応いたします。